としょかんのほんだな

～１・２年生　おすすめの本のリスト　２０２４～

そんなのうそだ！

ジーン・メリル 作　小宮 由 訳　岩波書店　９３３－メ

　ミャンマーという国の小さな村に、なまけもののサルとブタとキツネがすんでいました。三びきのやることは、茶店のおきゃくに、ほらばなしをきかせ、おれいにごちそうになるくらいです。ある日、ごうかで、はでなかっこうをしたイヌが、茶店のまえでとまったスポーツカーからおりてきました。三びきはイヌに『そんなの、うそだ！』といわせたものが勝つ勝負をしようといいます。イヌをだまして、ごうかなものをうばいとってやろうとかんがえたのです。

ジャックと豆の木　イギリスの昔話

ジョン・シェリー 再話・絵　おびか ゆうこ 訳　福音館書店　Ｅ－シ

　むかし、母親とジャックという名の息子が、一頭のめうしの乳をうって、ようやくくらしていました。ある日、とうとう乳がでなくなり、母親はジャックに市場でめうしをうってくるようにいいます。ところが、ジャックはふしぎな男と、めうしを５つの豆ととりかえてしまいました。おこった母親が、豆をそとへほうりなげると、つぎの朝、みたこともないほど大きな豆の木が天にむかってのびていました。

かもさんおとおり

ロバート・マックロスキー ぶんとえ　わたなべ しげお やく　福音館書店　Ｅ－マ

　かものマラードさんとおくさんは、すをつくるばしょをさがしていました。ところが、マラードさんがよさそうなばしょをみつけても、おくさんが「そこはだめよ」といいます。かもさんふうふはとびつづけ、ボストンのまちまできました。つかれたふうふは、こうえんにあるいけのなかのちいさなしまでやすむことにします。

こひつじクロ

エリザベス・ショー 作・絵　ゆり よう子 訳　童話館出版　９３３－シ

　ある山のむこうに、ひつじかいのおじいさんと犬のポロが、まいにちひつじたちの番をしていました。ところが、くろくて小さなひつじのクロだけは、ポロのいうことをちっともききません。ほかのひつじとおなじまっしろになりたいと考えごとをしていたからです。クロは、おじいさんにしろいセーターをあんでほしいといいますが、おじいさんは、クロはそのままが一番だといいました。

こぶたのピクルス

小風 さち 文　福音館書店　９１３－コ

　こぶたのピクルスは、学校へいくとちゅう、牛の牛乳屋さんにあいました。ピクルスが「わすれ物はひとつもない」とカバンをとんとんたたくと、牛乳屋さんは、いのぶたさんの家のはいたつをわすれていたことを思い出します。いのぶたおじさんが、がっかりすると思ったピクルスは、牛乳屋さんのかわりにとどけることにしました。(『ピクルスのわすれ物』)

すいかのたね

さとう わきこ さく・え　福音館書店　Ｅ－サ

　ばばばあちゃんは、にわにすいかのたねをだいじにまきました。それをみていたこねこが「なにかじめんにかくしたな」とじめんをほってみます。でてきたのは、すいかのたねがたったひとつだけで、こねこはがっかりして、もとのようにうめました。それをみていたこいぬも、じめんをほじくってみました。そして、こいぬもがっかりしてもとのようにうめました。そのとき、すいかのたねがちらりとうごいたのです。

おしいれのぼうけん

ふるた たるひ・たばた せいいち さく　童心社　Ｅ－タ

　さくらほいくえんには、おしいれとねずみばあさんというこわいものがふたつあります。ひるねのじかん、さとしがあきらのミニカーをひったくってにげると、あきらはとりかえそうとおいかけました。ふたりは、ねているひとをぴょんぴょんまたぎます。おこったみずのせんせいは、ふたりをおしいれのうえのだんとしたのだんにいれてしまいます。

ききみみずきん

木下 順二 文　初山 滋 絵　岩波書店　Ｅ－ハ

藤六(とうろく)は、ひゃくしょうとにもつはこびのしごとをしています。はげしいふきぶりのなか、でかけようとすると、おかあさんから、おとうさんがだいじにしていたずきんをわたされました。やがて、いいてんきになり、あせをふこうと藤六(とうろく)がずきんをうごかすと、とつぜん、かわいらしいおんなのこのこえがきこえてきました。ずきんをうごかすと、とりのこえがひとのことばになってきこえるのです。

あさがお

荒井 真紀 文・絵　金の星社　Ｅ－ア

あさがおは、４がつのおわりから６がつごろにかけてたねをまきます。たねは、みずをすってめをさまし、ふつかくらいでねがのびはじめます。やがて、ふたばがたねをやぶってでてくると、そのつけねからほんばがでてきます。そして、つるとはのねもとのあいだからちいさなつぼみができて、みごとなはながさくのです。あさがおのはなをさかせて、たねができるまでそだててみませんか。

いちねんせい

谷川 俊太郎 詩　和田 誠 絵　小学館　Ｅ－ワ

せんせいが　こくばんに
あと　かいた
あ　びっくりしてるみたい　（「あ」より）

この絵本(えほん)には、２３ぺんの詩(し)がのっています。ともだちやがっこう、せんせいなどみぢかなことや、ことばあそびになっている詩(し)もあります。声(こえ)に出(だ)してよんでみましょう。